

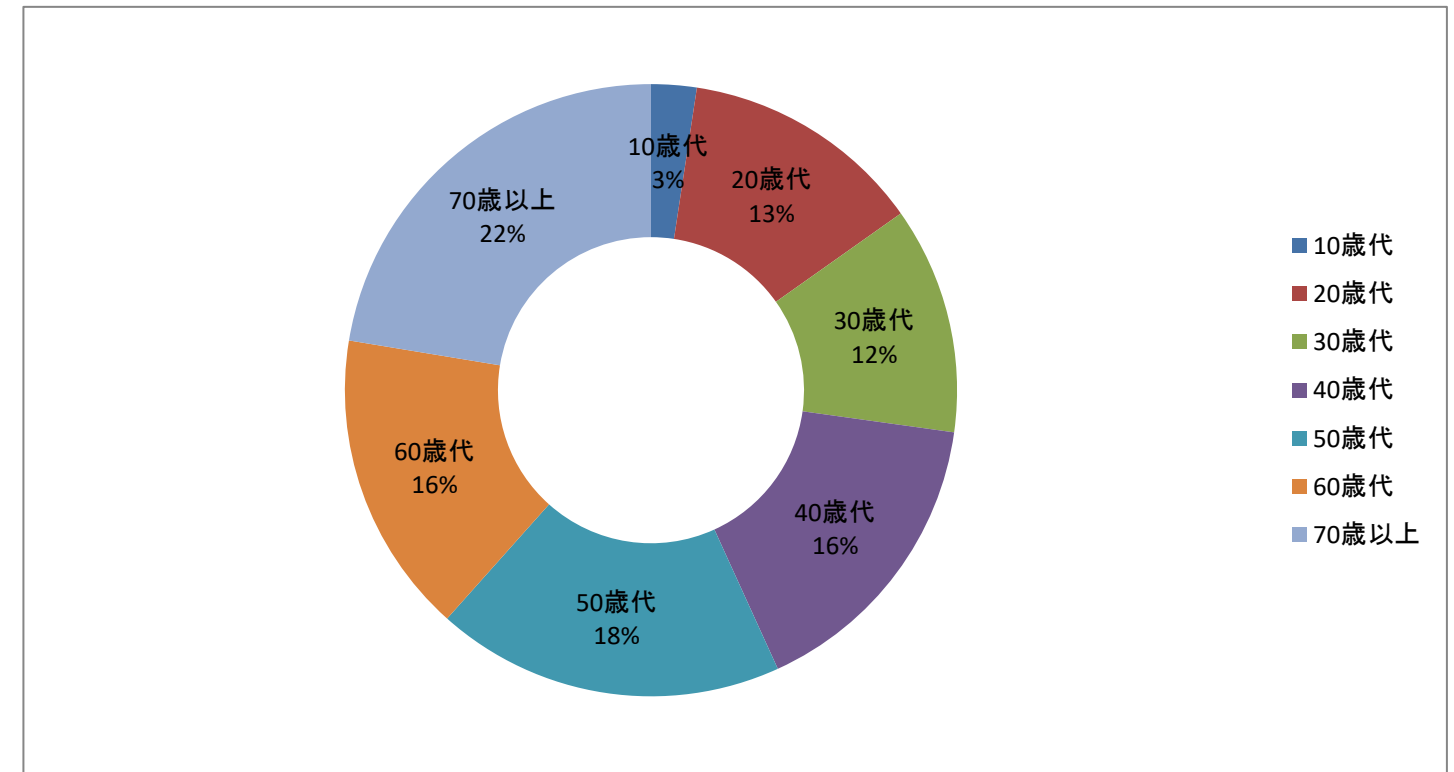
第10回 障害福祉に関するアンケート

【アンケート実施期間】 令和7年10月21日(火)～11月17日(月)

【アンケートの目的】 金沢市では、障害のある方の生活全般の向上をめざして、令和8年度に次期ノーマライゼーションプラン金沢（第6次障害者計画）および第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画を策定します。安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料とするため、意識調査を実施します。

【対象者数】 250 名

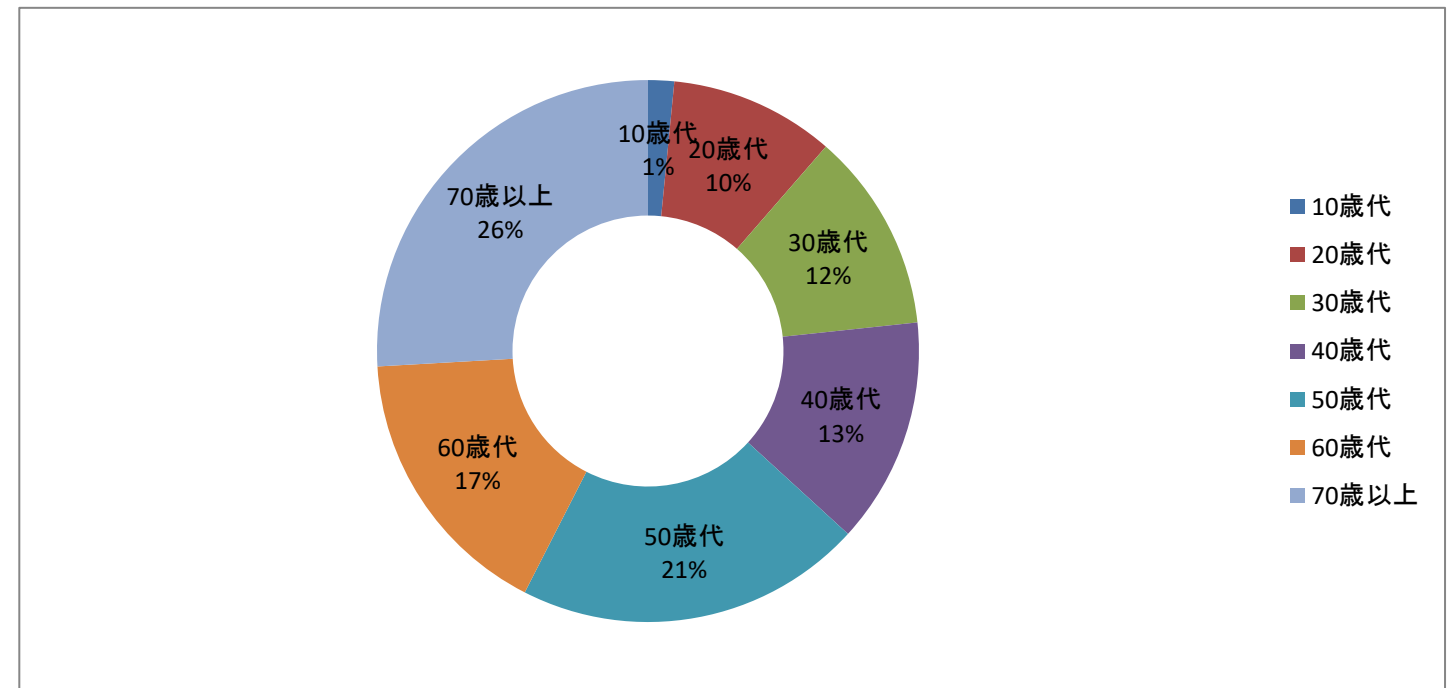
内訳	人数	%
10歳代	6	2.4
20歳代	32	12.8
30歳代	30	12.0
40歳代	40	16.0
50歳代	46	18.4
60歳代	40	16.0
70歳以上	56	22.4
計	250	100.0



【回答者数】 193 名

問1 あなたの年齢は満何歳ですか。

内訳	人数	%
10歳代	3	1.6
20歳代	19	9.8
30歳代	23	11.9
40歳代	26	13.5
50歳代	40	20.7
60歳代	32	16.6
70歳以上	50	25.9
計	193	100.0



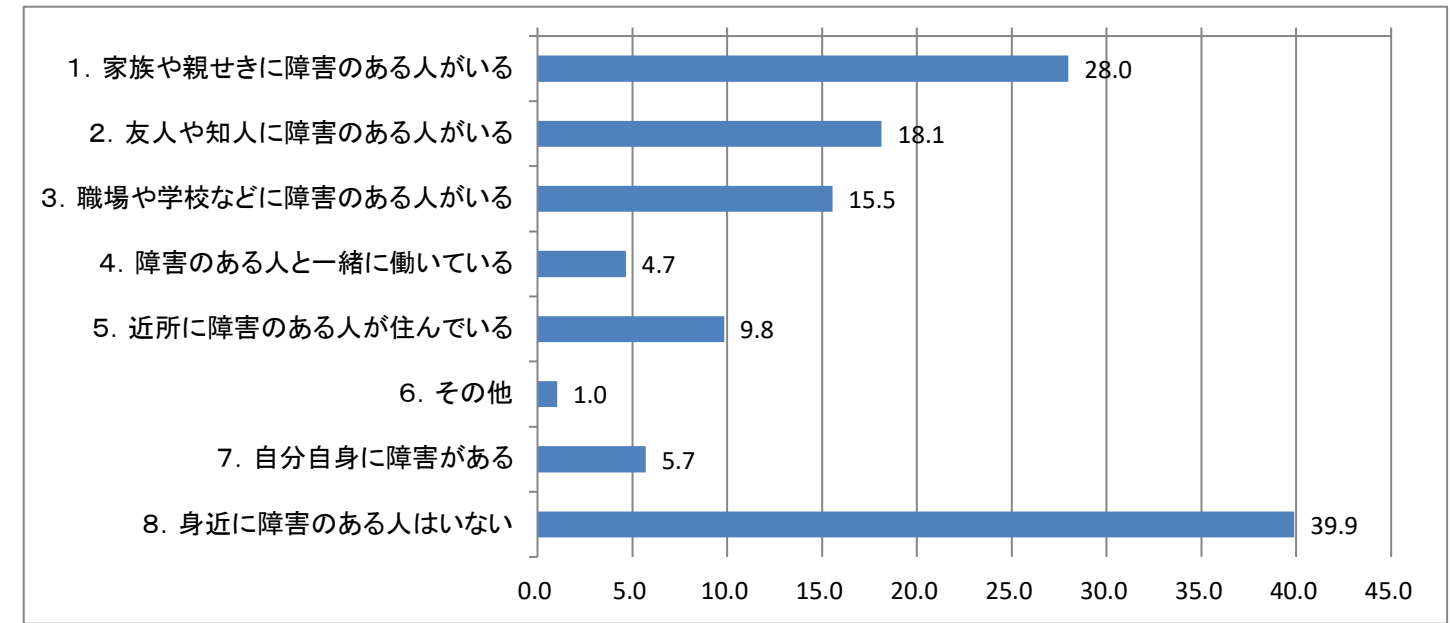
【回答率】 77.2 %

問2 あなたの身近に障害のある人はいますか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
1. 家族や親せきに障害のある人がいる	54	28.0
2. 友人や知人に障害のある人がいる	35	18.1
3. 職場や学校などに障害のある人がいる	30	15.5
4. 障害のある人と一緒に働いている	9	4.7
5. 近所に障害のある人が住んでいる	19	9.8
6. その他	2	1.0
7. 自分自身に障害がある	11	5.7
8. 身近に障害のある人はいない	77	39.9

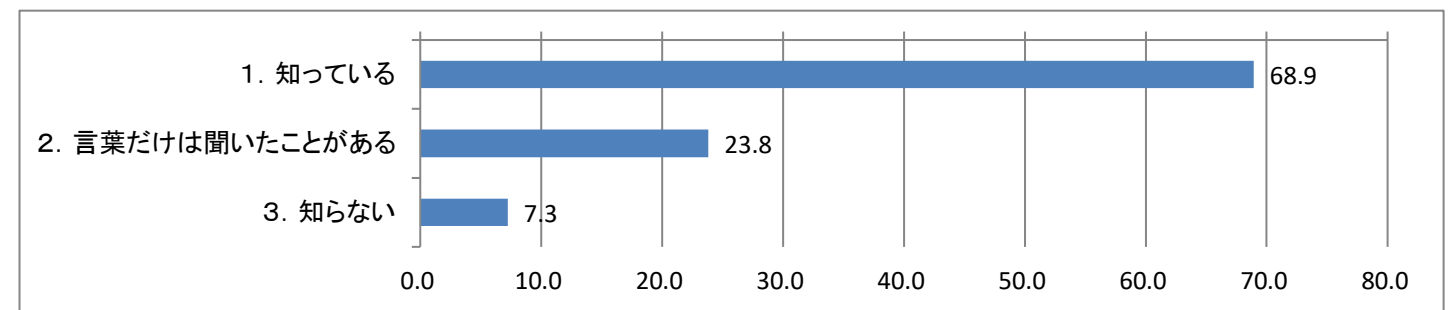
その他

- ・過去に障害者福祉の仕事をしていました。
- ・友人の子供



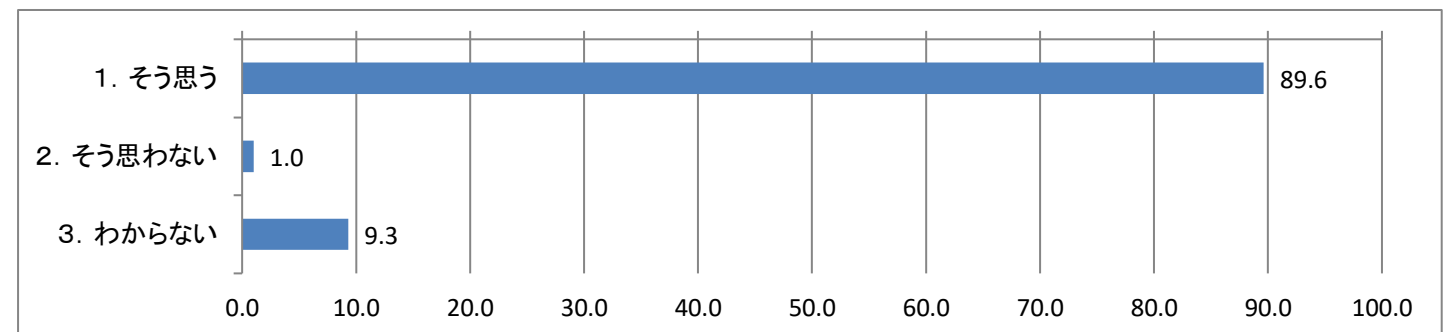
問3 あなたは、障害の有無にかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. 知っている	133	68.9
2. 言葉だけは聞いたことがある	46	23.8
3. 知らない	14	7.3



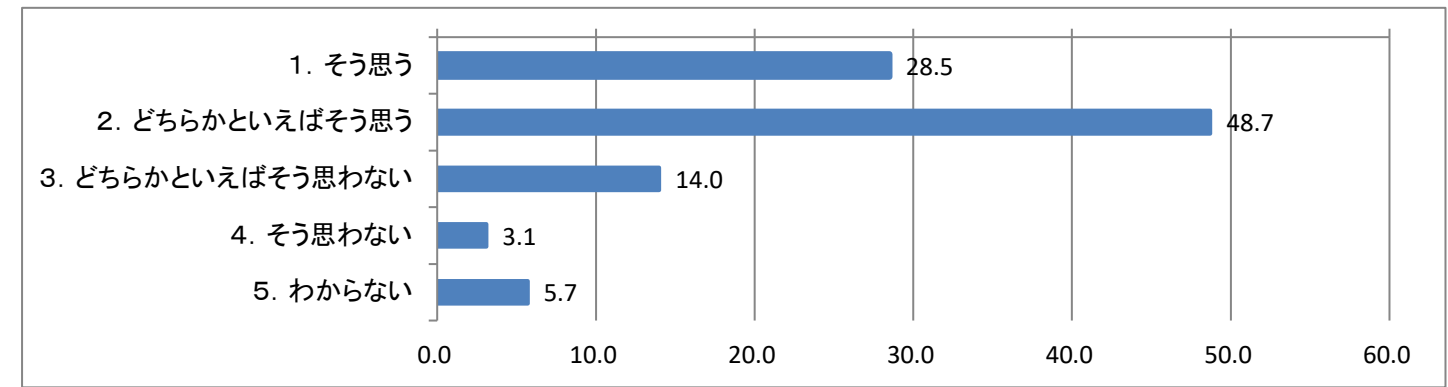
問4 金沢市では、「障害のある人もない人も、すべての人が一人ひとり大切にされ、いきいきと自分の生き方ができるまち・金沢」をめざし、令和4年12月に「共生社会を推進する金沢共同宣言」を行い、障害のある人もない人も共に生活できる社会づくりを進めています。あなたは、共生社会の考え方について、今後、理解を深めていきたいと思いませんか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. そう思う	173	89.6
2. そう思わない	2	1.0
3. わからない	18	9.3



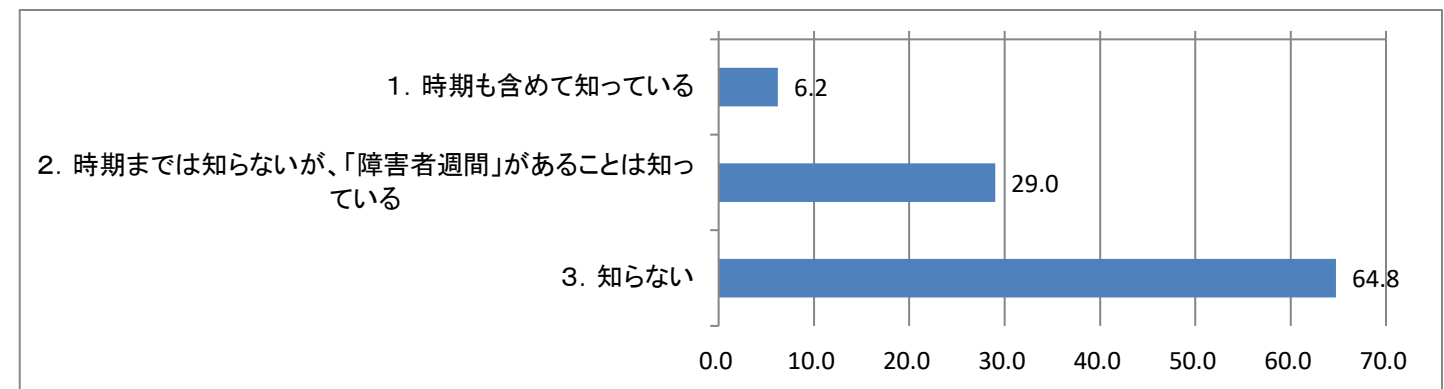
問5 あなたは、障害のある人のことや障害者福祉について関心を持っている方だと思いますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. そう思う	55	28.5
2. どちらかといえばそう思う	94	48.7
3. どちらかといえばそう思わない	27	14.0
4. そう思わない	6	3.1
5. わからない	11	5.7



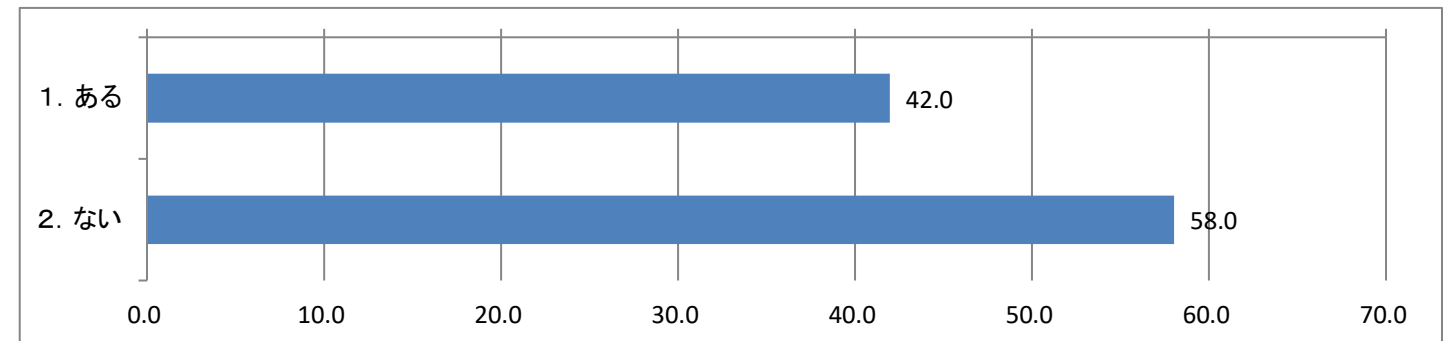
問6 障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加意欲を高めるため、毎年12月3日から12月9日までの1週間を法律で「障害者週間」と定められており、全国的にさまざまな取り組みが行われています。あなたは、「障害者週間」について知っていますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. 時期も含めて知っている	12	6.2
2. 時期までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている	56	29.0
3. 知らない	125	64.8



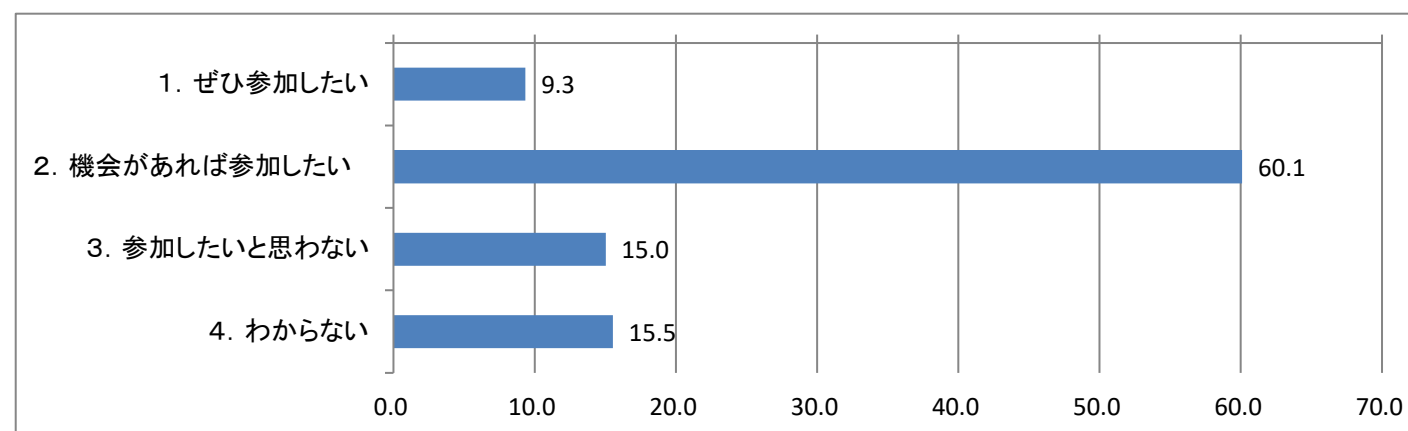
問7 あなたは、障害のある人も参加する行事や障害のある人などへの理解を深めるためのセミナー・シンポジウム、障害のある人のスポーツ大会や演奏会、作品展、手づくりの商品を販売する催しなどに参加したことはありますか。（選択は1つ）あなたは、障害のある人も参加する行事や障害のある人などへの理解を深めるためのセミナー・シンポジウム、障害のある人のスポーツ大会や演奏会、作品展、手づくりの商品を販売する催しなどに参加したことはありますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. ある	81	42.0
2. ない	112	58.0



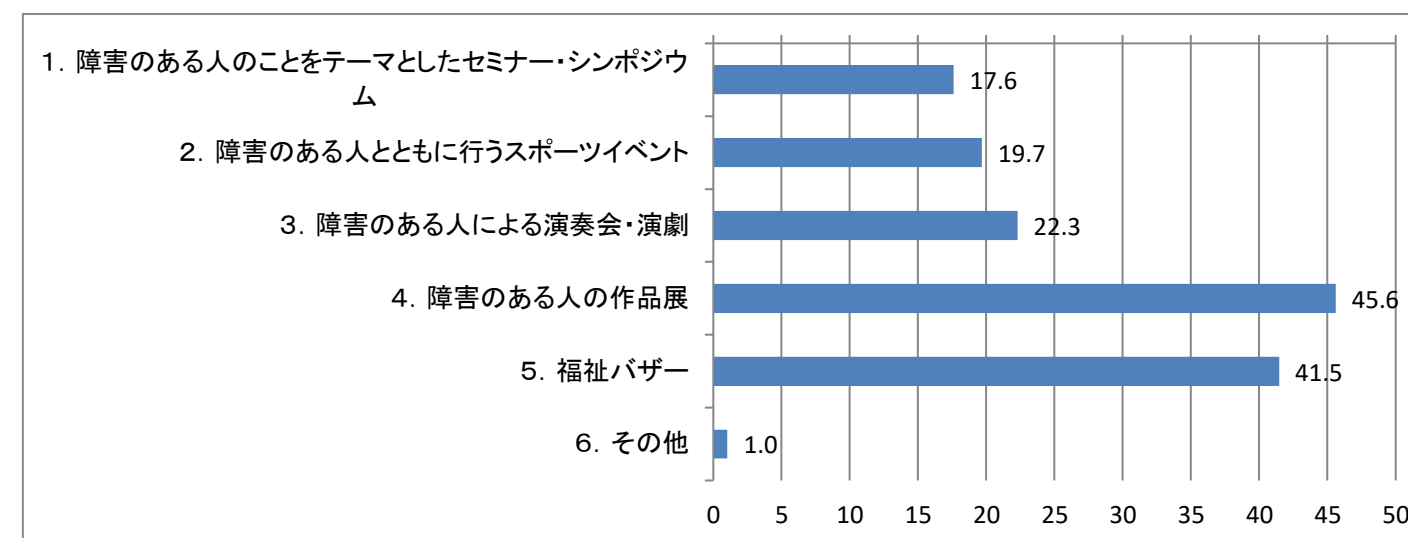
問8 あなたは、障害のある人などにかかわるさまざまな行事や催しなどに今後参加してみたいと思いますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. ぜひ参加したい	18	9.3
2. 機会があれば参加したい	116	60.1
3. 参加したいと思わない	29	15.0
4. わからない	30	15.5



問8-1 問8で「1. ぜひ参加したい」、「2. 機会があれば参加したい」を選択した方におたずねします。どのような行事や催しに参加したいと思いますか。（選択はいくつでも）

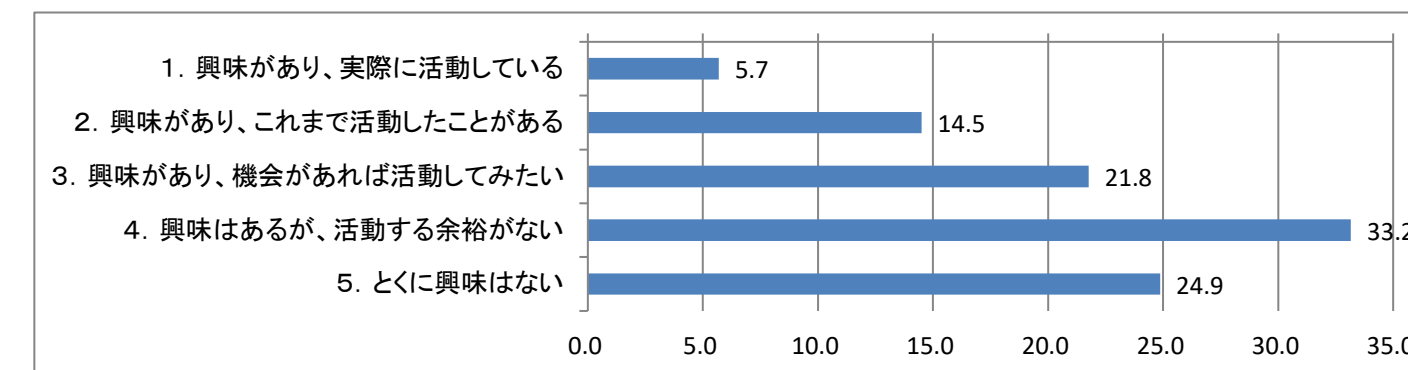
回答	人数	%
1. 障害のある人のことをテーマとしたセミナー・シンポジウム	34	17.6
2. 障害のある人とともに行うスポーツイベント	38	19.7
3. 障害のある人による演奏会・演劇	43	22.3
4. 障害のある人の作品展	88	45.6
5. 福祉バザー	80	41.5
6. その他	2	1.0



その他
 ・普通の人と普通にX'mas partyやハロウィンパーティーするような普通の集まりに普通に障害者の人もいだけ。特に意識をしない事をしたいです。
 ・実際にボランティア活動を実践している。もっとその機会を増やす企画をボランティア団体として模索中です。

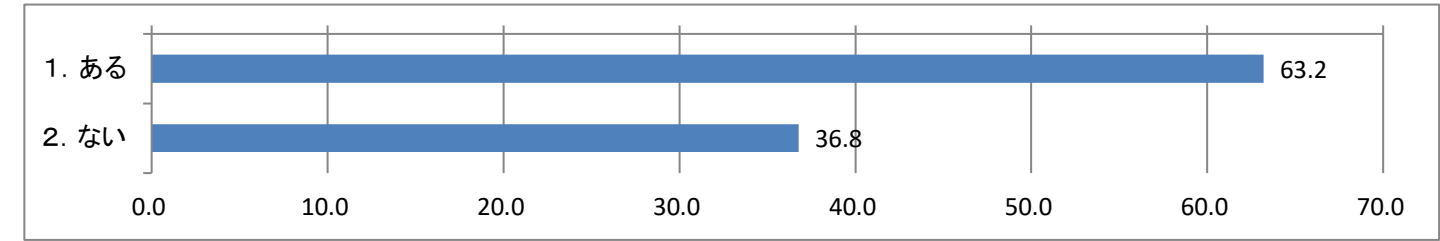
問9 あなたは、障害のある人にかかわるボランティア活動（外出時の付き添い、行事や催しの手伝い等）に興味がありますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. 興味があり、実際に活動している	11	5.7
2. 興味があり、これまで活動したことがある	28	14.5
3. 興味があり、機会があれば活動してみたい	42	21.8
4. 興味はあるが、活動する余裕がない	64	33.2
5. とくに興味はない	48	24.9



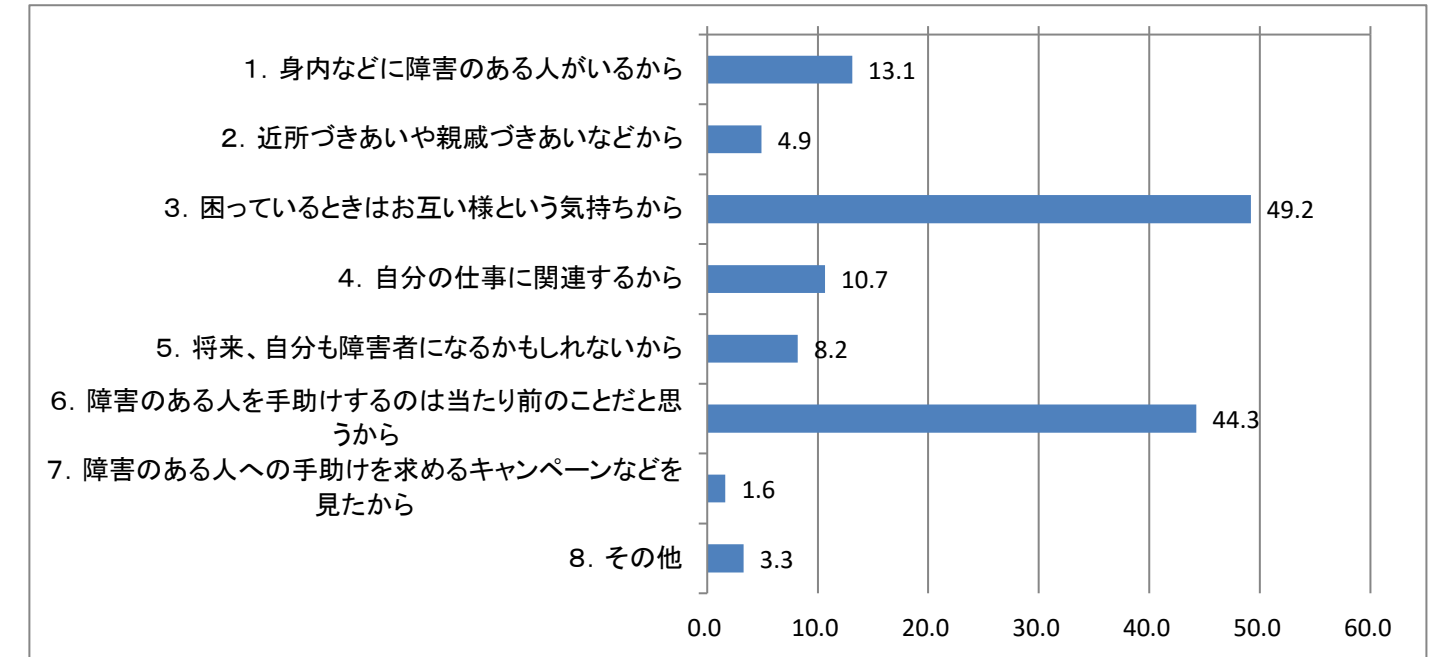
問10 あなたは、障害のある人が困っているときに、手助けをしたことがありますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. ある	122	63.2
2. ない	71	36.8



問10-1 問10で「1. ある」と答えた方におたずねします。それはどのような気持ちからでしょうか。（選択はいくつでも）

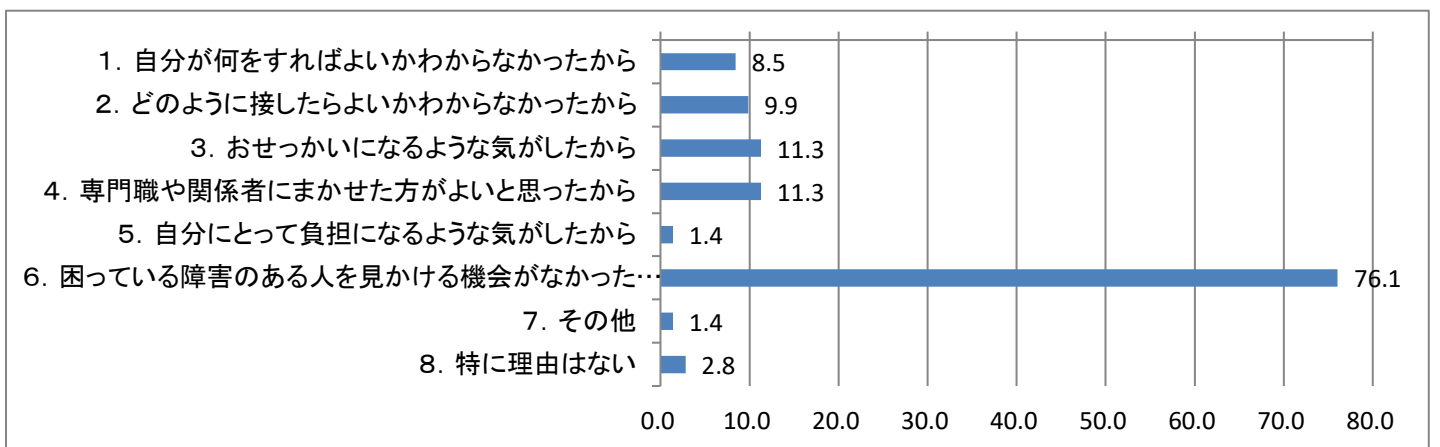
回答	人数	%
1. 身内などに障害のある人がいるから	16	13.1
2. 近所づきあいや親戚づきあいなどから	6	4.9
3. 困っているときはお互い様という気持ちから	60	49.2
4. 自分の仕事に関連するから	13	10.7
5. 将来、自分も障害者になるかもしれないから	10	8.2
6. 障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	54	44.3
7. 障害のある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから	2	1.6
8. その他	4	3.3



その他
 ・そもそも障害があるなしは人助けに関係あると思ってないから
 ・助けを求められたから
 ・社内で雇用し、健常者との区別をせずに接するようにした。勿論障害者としてできない事は当たり前になって行く。

問10-2 問10で「2. ない」を選択した方におたずねします。手助けをしたことがないのはどうしてですか。（選択はいくつでも）

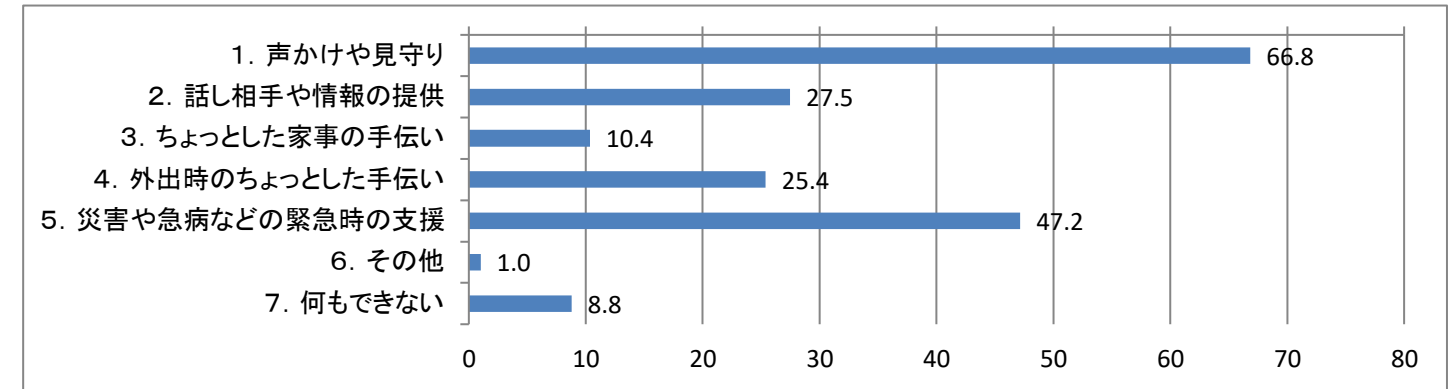
回答	人数	%
1. 自分が何をすればよいかわからなかったから	6	8.5
2. どのように接したらよいかわからなかったから	7	9.9
3. おせっかいになるような気がしたから	8	11.3
4. 専門職や関係者にまかせた方がよいと思ったから	8	11.3
5. 自分にとって負担になるような気がしたから	1	1.4
6. 困っている障害のある人を見かける機会がなかったから	54	76.1
7. その他	1	1.4
8. 特に理由はない	2	2.8



その他
 ・そういう場面に出会ったことがない。

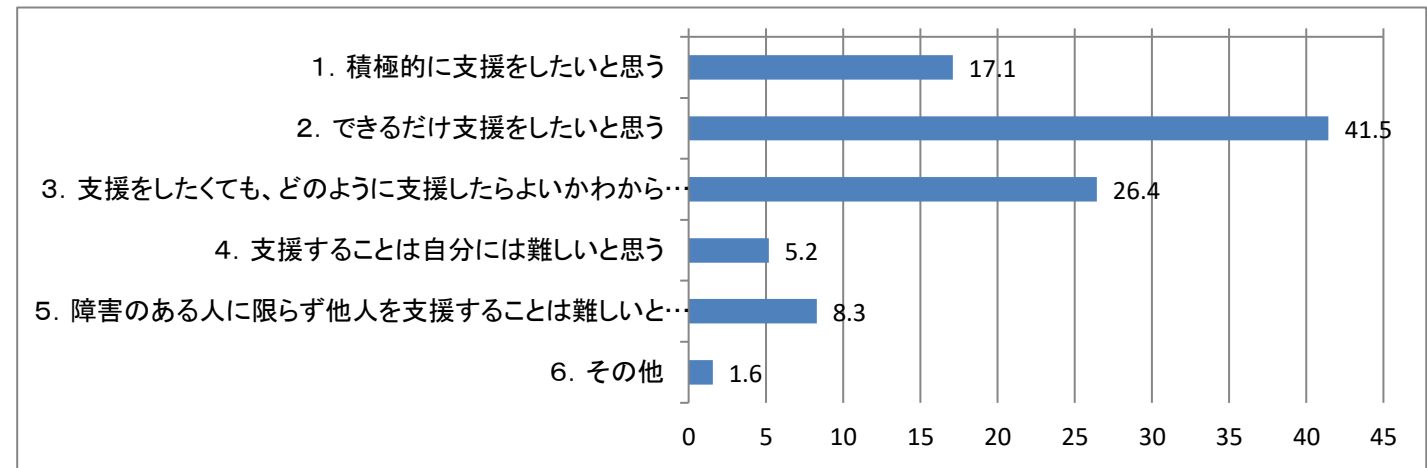
問11 あなたは、お住まいの地域で障害のある人が困っていたら、その人にどのようなことができると思いますか。
(選択はいくつでも)

回答	人数	%
1. 声かけや見守り	129	66.8
2. 話し相手や情報の提供	53	27.5
3. ちょっとした家事の手伝い	20	10.4
4. 外出時のちょっとした手伝い	49	25.4
5. 災害や急病などの緊急時の支援	91	47.2
6. その他	2	1.0
7. 何もできない	17	8.8



問12 災害が起きた際、地域に住んでいる障害のある人への支援（安否確認や災害情報の伝達、避難誘導など）をすることについて、どのように思いますか。（選択は1つ）

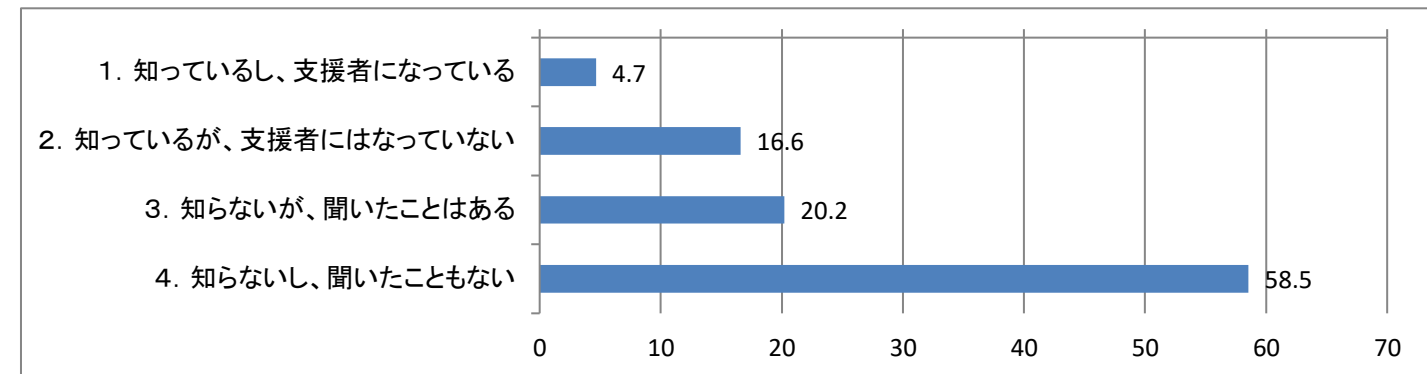
回答	人数	%
1. 積極的に支援をしたいと思う	33	17.1
2. できるだけ支援をしたいと思う	80	41.5
3. 支援をしたくても、どのように支援したらよいかわからない	51	26.4
4. 支援することは自分には難しいと思う	10	5.2
5. 障害のある人に限らず他人を支援することは難しいと思う	16	8.3
6. その他	3	1.6



その他
 ・一歳の子供がいるので、子供の安全が確保されてからであれば可能かと思います。
 ・障害のある人に限らず、地域に住んでいる人は助け合うことが大切と思う
 ・コミュニティーのあり方で、必要とされる立場にあれば、協力したいと思います。

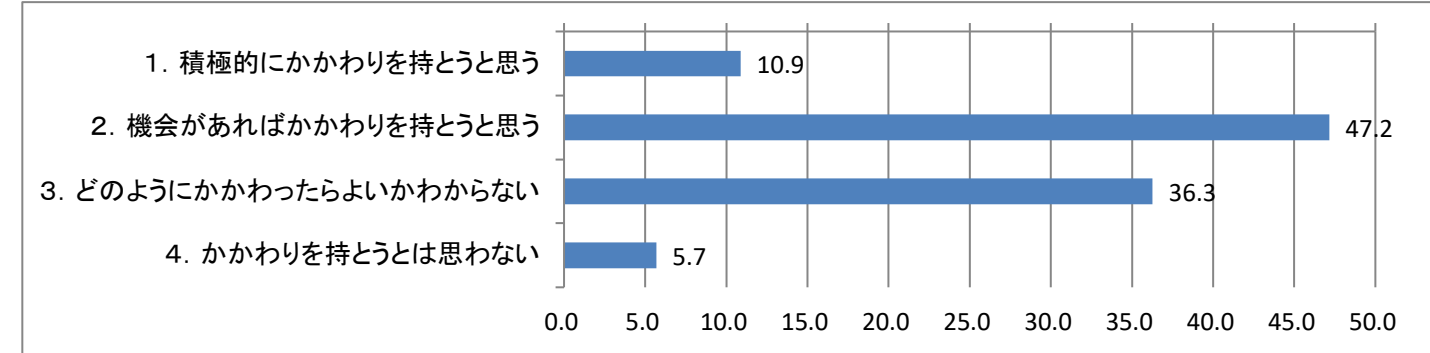
問13 金沢市では、障害のある人などの避難行動要支援者ごとに、その人の住む地域の支援者や緊急の連絡先、避難方法など示した「個別避難計画」の作成を進めています。あなたは、「個別避難計画」について知っていますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. 知っているし、支援者になっている	9	4.7
2. 知っているが、支援者にはなっていない	32	16.6
3. 知らないが、聞いたことはある	39	20.2
4. 知らないし、聞いたこともない	113	58.5



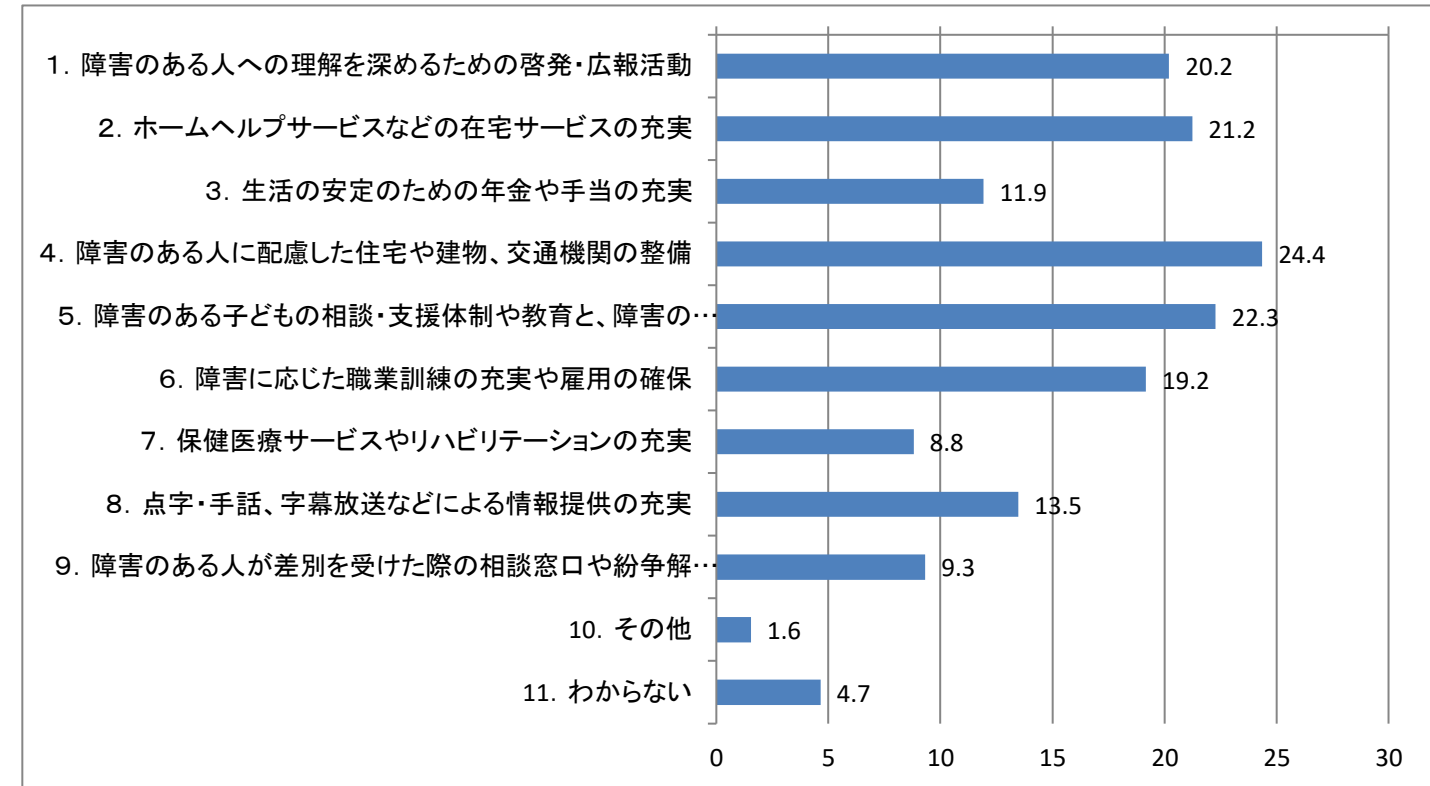
問14 災害などの緊急時に障害のある人の手助けをするためには、ふだんから障害のある人とかかわりを持つとよいと考えられますが、あなたは、今後、障害のある人とかかわりを持つと思いますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. 積極的にかかわりを持つと思う	21	10.9
2. 機会があればかかわりを持つと思う	91	47.2
3. どのようにかかわったらよいかわからない	70	36.3
4. かかわりを持つとは思わない	11	5.7



問15 障害のある人に関する行政の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものは何ですか。（選択はいくつでも）

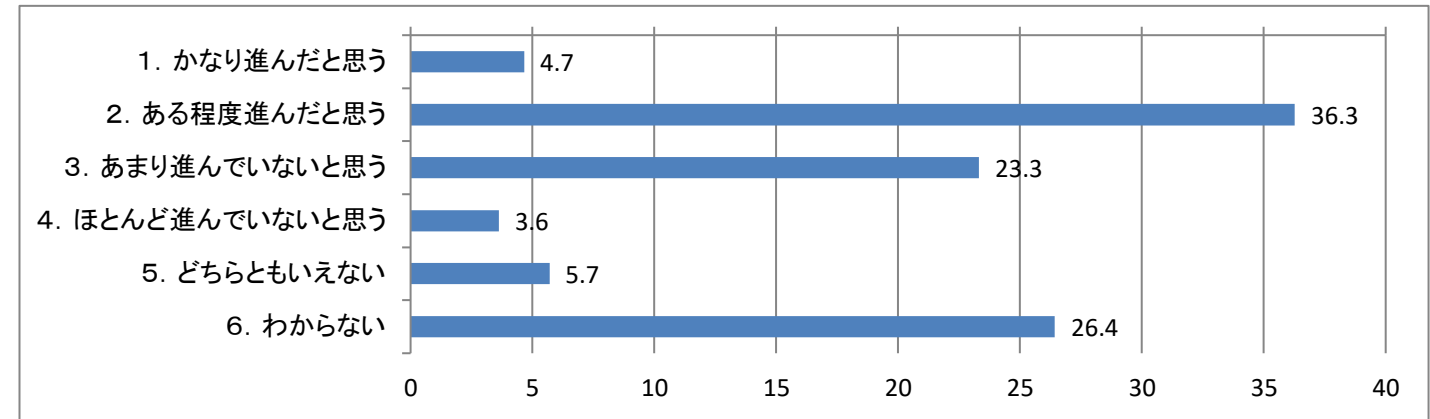
回答	人数	%
1. 障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動	39	20.2
2. ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	41	21.2
3. 生活の安定のための年金や手当の充実	23	11.9
4. 障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備	47	24.4
5. 障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実	43	22.3
6. 障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	37	19.2
7. 保健医療サービスやリハビリテーションの充実	17	8.8
8. 点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実	26	13.5
9. 障害のある人が差別を受けた際の相談窓口や紛争解決機能の充実	18	9.3
10. その他	3	1.6
11. わからない	9	4.7



その他
 ・障害者の保護者に対する勉強会などが必要
 ・健康な人間が健康な立場から考えるより、困ってる人から具体的な悩みや希望、解決策を聞く耳を持つ機会。
 ・在宅サービスだけでは無くして外出時の付添いサービスや支援等安心して外出出来るサービス
 但しお互い敬意を持つ事をサービスする側もされる側も研修等で受けさせる事が必須条件

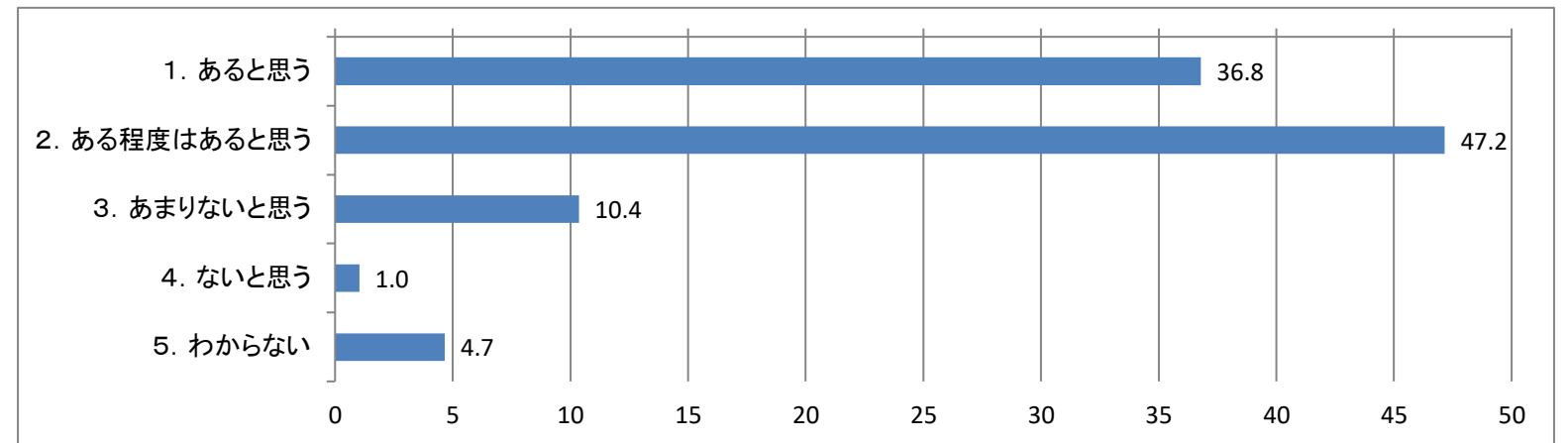
問16 あなたは、5年前と比べて前問のような障害者施策は進んだと思いますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. かなり進んだと思う	9	4.7
2. ある程度進んだと思う	70	36.3
3. あまり進んでいないと思う	45	23.3
4. ほとんど進んでいないと思う	7	3.6
5. どちらともいえない	11	5.7
6. わからない	51	26.4



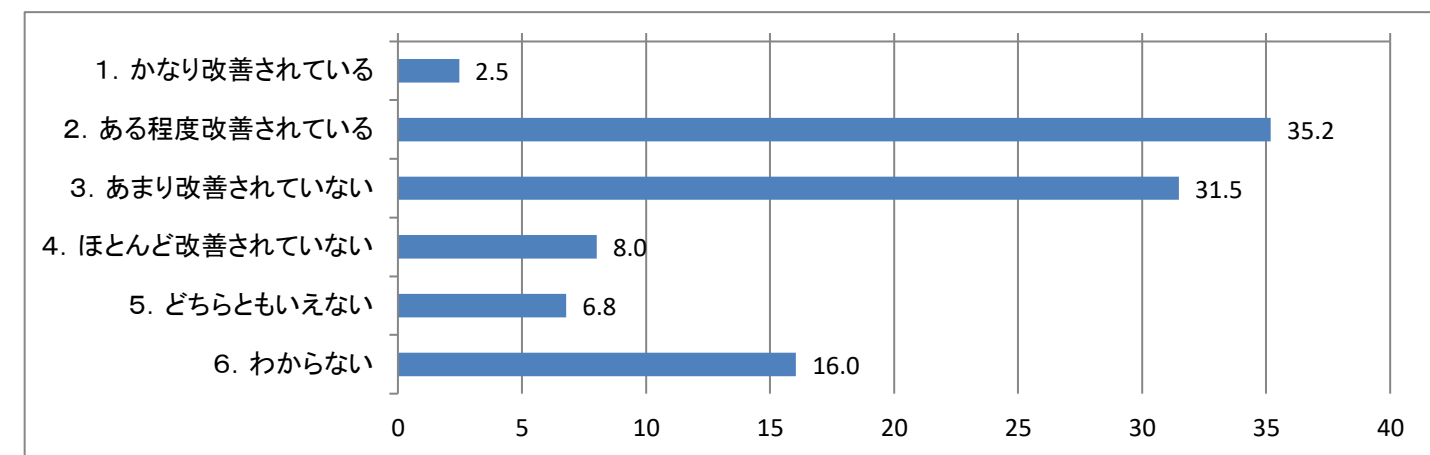
問17 あなたは、世の中に障害のある人に対し、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。（選択は1つ）

回答	人数	%
1. あると思う	71	36.8
2. ある程度はあると思う	91	47.2
3. あまりないと思う	20	10.4
4. ないと思う	2	1.0
5. わからない	9	4.7



問17-1 問17で「1. あると思う」、「2. ある程度はあると思う」を選択した方におたずねします。5年前に比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。（選択は1つ）

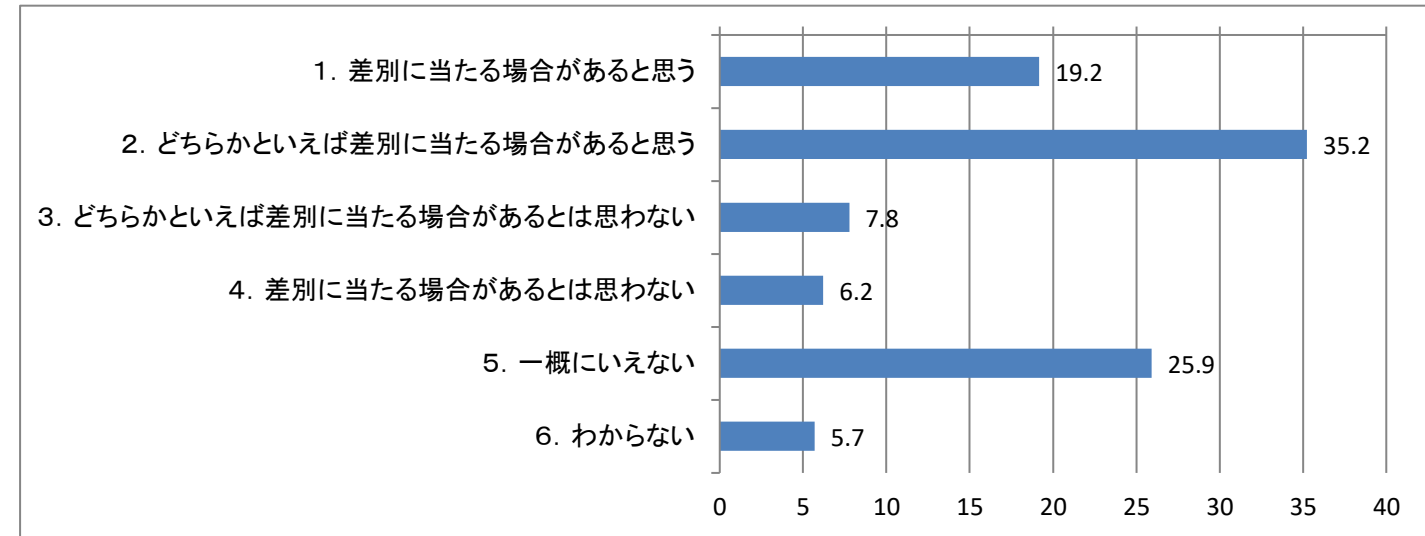
回答	人数	%
1. かなり改善されている	4	2.5
2. ある程度改善されている	57	35.2
3. あまり改善されていない	51	31.5
4. ほとんど改善されていない	13	8.0
5. どちらともいえない	11	6.8
6. わからない	26	16.0



問18 もし障害のある人への配慮や工夫が行われなかったとしたら、それは「障害を理由とする差別」にあたる場合があると思いますか。（選択は1つ）

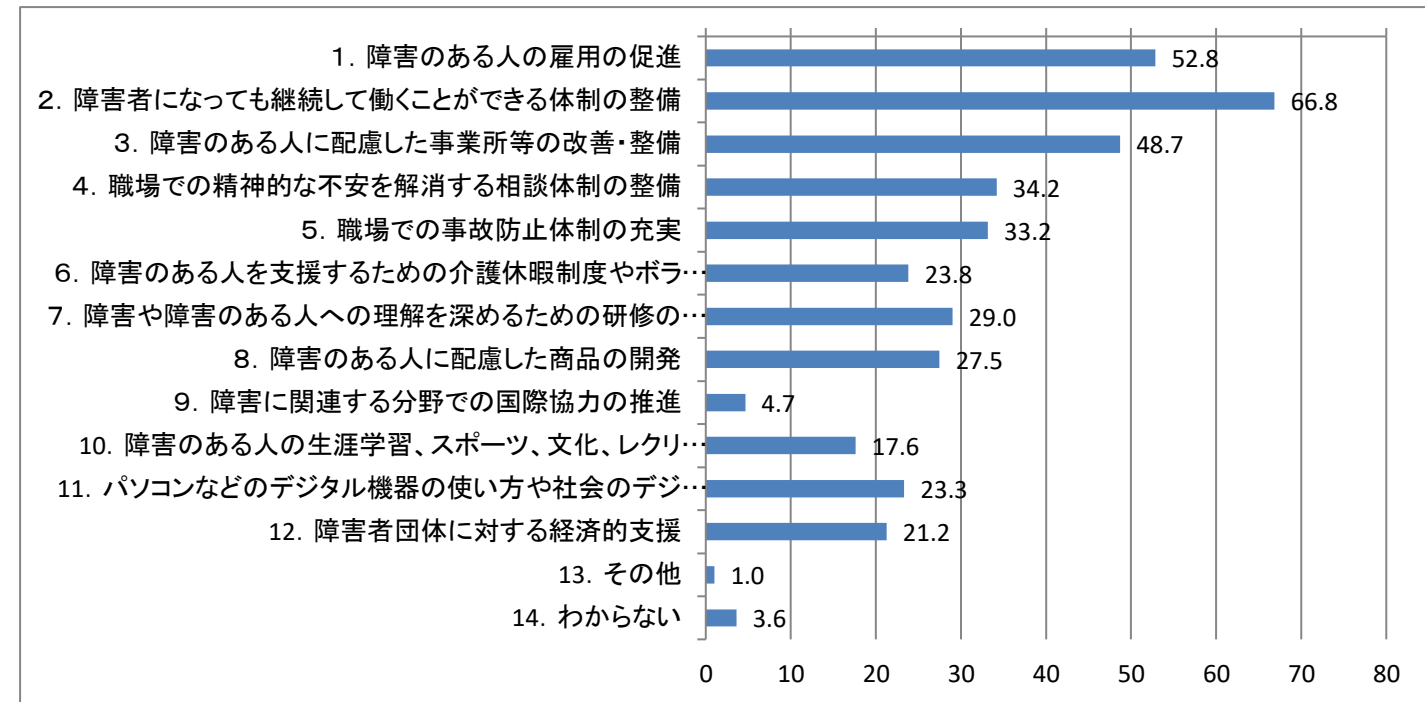
（※）障害のある人への配慮や工夫とは
 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、受付窓口で耳の不自由な方に筆談で対応したり、商店で高い棚にある商品を店員が代わりに取ってあげたりするなど、さまざまな配慮や工夫が必要になることがあります。

回答	人数	%
1. 差別に当たる場合があると思う	37	19.2
2. どちらかといえば差別に当たる場合があると思う	68	35.2
3. どちらかといえば差別に当たる場合があるとは思わない	15	7.8
4. 差別に当たる場合があるとは思わない	12	6.2
5. 一概にいけない	50	25.9
6. わからない	11	5.7



問19 障害のある人のために企業や民間団体が行う活動について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。（選択はいくつでも）

回答	人数	%
1. 障害のある人の雇用の促進	102	52.8
2. 障害者になっても継続して働くことができる体制の整備	129	66.8
3. 障害のある人に配慮した事業所等の改善・整備	94	48.7
4. 職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備	66	34.2
5. 職場での事故防止体制の充実	64	33.2
6. 障害のある人を支援するための介護休暇制度やボランティア休暇制度の充実	46	23.8
7. 障害や障害のある人への理解を深めるための研修の実施	56	29.0
8. 障害のある人に配慮した商品の開発	53	27.5
9. 障害に関連する分野での国際協力の推進	9	4.7
10. 障害のある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援	34	17.6
11. パソコンなどのデジタル機器の使い方や社会のデジタル化に対応するための支援	45	23.3
12. 障害者団体に対する経済的支援	41	21.2
13. その他	2	1.0
14. わからない	7	3.6



その他
 ・障害についての講座
 ・障害者を雇用することに対する行政からの支援